

バンドンあれやこれや

隊次：26-2

職種：化学応用化学

氏名：橋本裕光

生活

1.住居 バンドンは、前任のシニアのかたが強盗にあい、けがをしたこともあって、防犯上の観点からホテル住まいとなった。場所はバンドン警察署のすぐそば。赴任時には志賀さん、メガさんに伴われ警察署にあいさつ。通勤はホテルの車で送迎してもらっている。定刻に出て、定刻に帰る。規則正しい生活を送っている。ホテル生活の良いところは、食事・掃除・ランドリー等が付き、Wifi が使え、新聞等が配達されること。調整員のかたのおかげです。



2.お金 お金は BII に預金し、振り込まれます。気づいたことは、\$口座からルピアの引き出しは手数料 100 ルピア/\$です。他の銀行は手数料 500 ルピア/\$くらいなのでお得。多額の費用を両替するときは手数料が 10 ルピア/\$まで下がります。残金明細はプリントアウト可能です。カードが ATM に吸い込まれた場合、再発行可能です。(手数料 200 円)

3.交通・旅行

列車の利用；KeretaApi <https://tiket.kereta-api.co.id/> が便利。予約→コンビニ払い→番号来る。

宿の予約；Booking.com email.campaign@sg.booking.com が便利。現地での支払いです。

4.通信・情報

Wifi 接続；つながらない時のためにモデムを購入（8 GB/800 円）

ジャカルタ新聞（日本語） <http://www.jakartashimbun.com/>

ジャカルタタイムス（英語） <http://www.thejakartapost.com/>

ジャカルタタイムスは記事の検索まででき重宝しています。



5.健康診断

シルバーエキスパートは30日間健康診断のために日本に一時帰国します。私は 7/21 日本へ（7/22-8/20）8/21 ジャカルタ帰任 で考えています。

6.バンドン会議

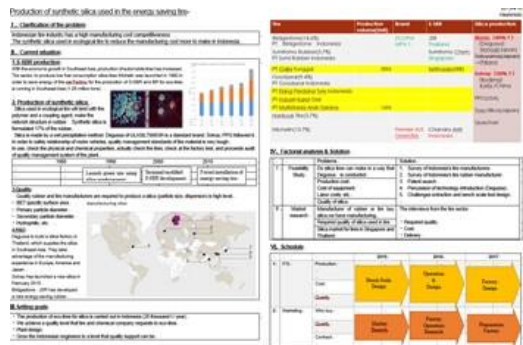
1955 年にバンドンで開催されたアジア・アフリカ会議の60周年を記念して、4月24日バンドンに各国の指導者が集まりました。おかげさまでなかなか進まなかった道路工事も24日朝には完了し（まぎわまでやりました）バンドンはきれいになりました。この年に生まれた私は今年が還暦です。次の総会では赤いちゃんちゃんこで出席します。



活動

① 活動計画立案と技術教育

テーマ選定のため、前任者が始めた技術教育を発展させ、
 テーマ紹介（現状・問題点・対策・スケジュール）を付け
 加え定例化した（金曜日の9時30分-10時30分；隔週）。
 毎回5名から30名くらいの方に参加してもらっている。
 現在まで12回終了し、三つの追加テーマを発掘した。



派遣国：インドネシア 氏名：橋本裕光 階次：26年2次研修 職種：化学応用化学 (記入)

<配属先における目標>
 工業窯炉の検査と寿命判定技術の移転

ボランティア活動日程		活動	活動の到達点（目標）	活動実施者	活動報告書提出期限
1	活動計画立案と 技術教育	1) 技術プレゼン 2) テーマ進捗管理業 3) テーマ検討会	1) 2回/月実施 2) 書き方共有 3) 制度として定着	1) 橋本	
2	耐火物の寿命予測	1) 技術資料まとめ 2) プレゼンテーション 3) 対外的な共有化	1) インドネシア語の教科書作成 2) プレゼン資料完成 3) BBKの方がプレゼンできる	1) 橋本 2) カウンターパート	
3	省エネルギー 研究の進め方のモデル を実施する	1) 日本の技術まとめ 2) 業界調査 3) 対応案実施	1) インドネシア語教科書作成 2) 2か所/年 3) ロードマップ作成	1) 橋本 2) ?	
4	省エネタイヤ用シリカ製造	1) 技術調査 2) 研究計画 3) 販売	1) FS 2) 計画書 3) 企画書	1) 橋本 2) ?	
5	石炭灰リサイクル	1) ブロック製造 2) 石炭灰リサイクル 3) 発電用リサイクル	1) H仕様 2) ロードマップ 3) 標準書	1) 橋本 2) ?	

② 耐火物設備の寿命予測

日本の鉄鋼業における耐火物技術の状況 4 回プレゼンテーションを行った。日本プライブリコが実施する、第 2 回不定形耐火物講習会を 5 月 20 日から 3 日間の予定で行い、そのなかでインドネシアの化学・肥料メーカーの方にもインドネシア語のレポートでプレゼンを行った。今後技術を広げていきたい。

③ 省エネルギー

セラミックセンターの担当する業界はセメント・陶器などエネルギー多消費型産業が多いので、日本の行っている省エネルギー技術とインドネシアへの省エネ技術についてプレゼンを行った。今まで省エネルギーに関しては多くの支援がなされてきたが、まだインドネシアに根付いていないとはいいがたい。セメント・陶器といったメーカーに対して今回まとめた情報を発信し、自立できる仕組みを考えていきたい。

④ 省エネタイヤ用シリカ製造

BBK の新しいテーマとして、自動車タイヤで使用する SiO₂ 微粉の製造を取り上げる。狙いは SiO₂ の微粉製造技術の応用である。自動車の燃費向上のために使う素材であるので、マーケットの大きさ、SiO₂ メーカー、化学メーカー、タイヤメーカーの技術動向等をまとめ報告した。ゴムの生産を行うインドネシアはタイヤ生産では競争力があるのでその支援という形でプロジェクトを支援していく。

⑤ 石炭灰のリサイクル

日本の H 工業がもつ、石炭灰から透水性ブロックをつくるのが、JICA の中小企業支援プロでスタートした。それに関連して、石炭火力発電、石炭ガス化、石炭灰処理についての概説をまとめ報告した。この分野では日本の技術が使えるのでプロジェクト化すべく検討を進める。